

防災官の声

退職自衛官採用のメリット

・自衛隊在任間に培われた、災害対処の実務能力(※)は、地方公共団体の危機管理対処能力を向上させます。また、防災行政に関する首長等への的確な助言や自衛隊等関係機関とのネットワーク構築が期待できます。

※主な実務能力として

- ・指揮官が様々な状況に対し、的確な状況判断ができるように補佐(情報収集、分析等)
- ・自衛隊の運用に関する知識と経験
- ・訓練指導能力及び調整能力を保持している等

福岡県内の採用状況

福岡県を含む61市町村中20の自治体で採用(掲載日現在)
今回は【久山町役場】にご協力いただきました！



投稿者

久山町役場

総務課長 久芳 浩二 様



自治体概要等

久山町

- ・人口 9,294 人 (R5.6.1 現在)
- ・面積 37.4 km²

久山町役場

- ・職員数 97 名 (会計年度任用職員含む 143 人)



退職自衛官の採用について

久山町は、昭和 31 年の町制施行以来今日まで人的被害が出るような災害が幸いにも発生していません。しかしながら、近年は毎年のように全国各地で人命・財産が失われるような自然災害が発生しており、久山町においても洪水・土石流が発生する可能性があること、10km 圏内にある西山断層や宇美断層があり、確率は極めて低いものの M7.8~8.2 程度の地震が発生する可能性があること等、自然災害と無縁ではないと認識しています。このような現状認識を踏まえ、町民の防災意識の醸成や自主防災組織の育成、並びに町役場の防災体制の強化等の取組みを推進するために退職自衛官を防災担当職員として任用することとしました。

防災官の仕事内容

(平常時) 防災に関する業務全般

- ・防災に関する啓発活動、自主防災組織の組織化、地域防災計画等の改正業務
- ・防災関係機関との連絡・調整、職員に対する防災教育・訓練等

(災害時) 災害対応に係る業務

- ・災害対策本部等における本部長への意見具申、災害対策本部各班との調整、防災関係機関との連携

退職自衛官の働きがい

自衛隊で培った危機管理能力や実行力をもって、本町における防災上のリスクを把握して町役場の防災体制を見直すとともに、町民向け防災講座や役場職員に対する防災教育等を実施して防災意識の高揚に努めています。

また、地域防災力の向上のため、学校や社会福祉施設等とも積極的に意見交換を実施して、災害発生時の対処要領について認識の共有を図っています。

本人の声(防災専門官 池田 賢一郎 氏)

私は、自衛官退官後の昨年 11 月から福岡県糟屋郡にある久山町役場で防災専門官として勤務させて頂いています。ここ久山町は、隣接する福岡市のベッドタウンとして近年人口が増え新しい住宅地も増えていますが、犬鳴山地山麓に位置しており、自然も豊富でとても環境の良い町だと感じています。また、人的被害が出るような災害が約 70 年間も発生していない極めて稀な自治体でもあります。

このような環境のなか防災専門官として約半年勤務し、町民の方々の防災意識が必ずしも高くないことが平素の防災対策を推進する上で最も大きな課題ではないかとの考えに至りました。現在、町民の方々の防災意識を高めてもらうことを目的に久山町における災害リスク等を説明する防災出前講座を町内各地区で実施しており、町民の方々の防災に関する興味や意識が徐々に変わってきたように感じています。

今後も防災意識の高揚に資する啓発活動を継続し、その成果を自主防災組織の組織化や防災訓練の実施に繋げる等、地域防災力の強化を図って大規模災害が発生しても町民の方々の被害を局限できるよう防災対策に取組み防災専門官としての職責を果たす所存です。



久山町役場 総務課
防災専門官 池田 賢一郎 氏
元陸上自衛隊 九州補給処補給部 総務班長

